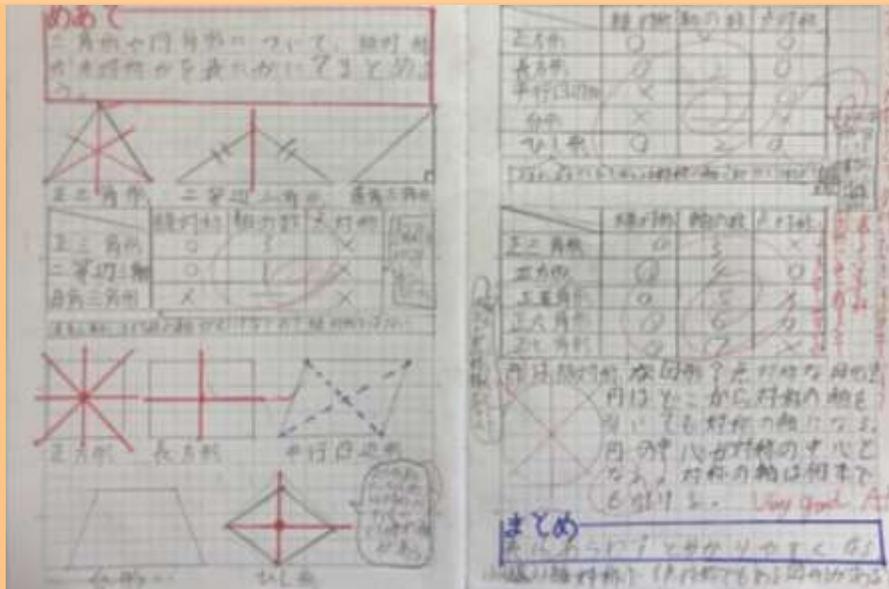


# Yell ～絆を深めて Keep Smile～

第19号 令和2年6月16日(火)

## 分散登校特集：自学名人！～学習を楽しむ子ども達から



左は、6年生の子どもの自学ノートです。自分で学習のテーマを決め、進んで学習に取り組む様子がよく分かります。

注目すべき点は、「ふきだし」です。図や表から、気付いたことを書くことで学びが深まっている様子がよく伝わります。

まるで本の執筆者のように自学を進めている様子がよく分かりますね。

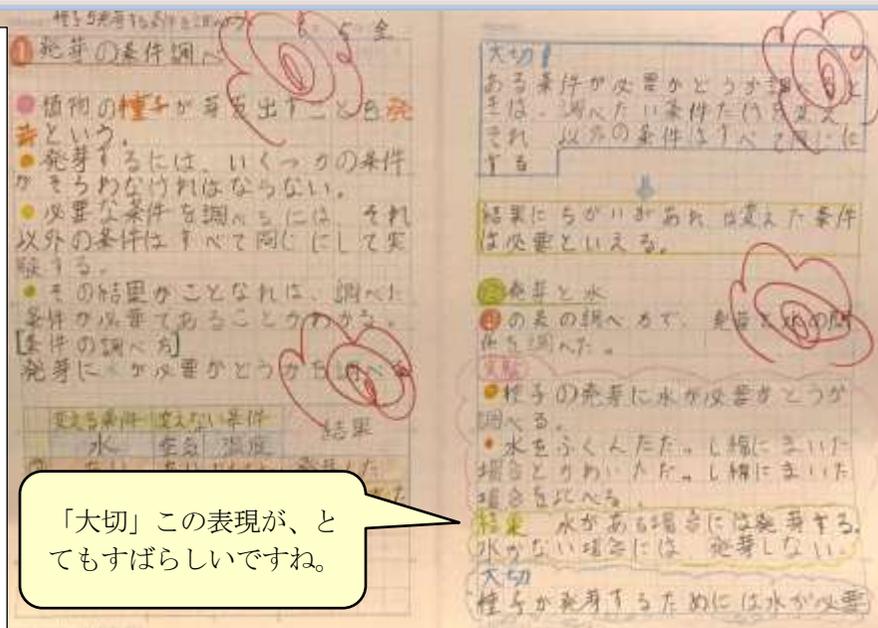
## 実は、この相手の教えるような学習方法がとても大切なのです。

右は5年生の自学の様子です。まるで友達に教えるようにまとめているのがよく分かります。

学んだこと（インプット）したことを教える（アウトプット）することで、学習したことがより定着するののだそうです。

2人の子どもたちは、学ぶ楽しさを獲得するだけでなく、着実に学力を伸ばしていることでしょう。

素晴らしい取組です。



「大切」この表現が、とても素晴らしいですね。

# 分散登校特集：担任の先生は、もう1教科!?



こちらは、5年3組の家庭科の様子です。河堂先生が、5年生になって初めて家庭科を学ぶ子どもたちに、家庭科の使い方について学習を進めています。

「うわあ、穴のあいたオタマがある！」

「こんなのみたことないぞ！」

「両手鍋って、どうやって使うんだろう。」

小学校の6年間は、本当に多くのことを学びます。新鮮な気持ちになって学習意欲を高める子どもたちの姿が素晴らしいですね。

こちらは6年3組の村田学級の様子です。「〇〇君の朝ごはんは、なんと7品もあるそうです。」

「ええ!!すごい!だから元気いっぱいなん?」「栄養満点だから、朝からエネルギー満タンなんだね。」

「ぼくは、朝寝坊したから何も食べていない。」

「だから、元気がないんだよ。」

こうして、朝の生活時間の過ごし方について、話し合いました。一生懸命語り合う先生と子どもたち。とても40分では足りなさそうですが、充実した時間を過ごしました。



## 充実した専科指導～図画工作科、体育科特集～



粘土と語り合いながら、一つの芸術作品に仕上げていきます。

高学年通信はもちろん、ホームページでもお伝えしている通り、高学年は専科指導がとても充実しています。

図画工作科では、イメージをふくらませながら粘土の学習に取り組む子どもたち。

「高学年は、動きが大切だよ。」

担当の片渊先生が、わかりやすく説明していました。



こちらは、体育科の様子です。担当の瀧口先生が、2人の子どもたちの「短距離走」の様子を動画に撮っています。

「いい?この腕の振り方を変えていくともっとよくなるよ。」

「はい」

分散登校中だからこそ、少人数にきめ細やかな指導ができます。ピンチをチャンスに!流石です。

